

施設・避難所等ラピッドアセスメントシート（20250331 版）
の項目に対するスフィア基準に基づいた評価基準

飲料水

- A. 1 人当たり食事とは別に 1 日 3L 以上の飲料水量がある
- B. 1 人当たり食事とは別に 1 日 2L 以上の飲料水量がある
- C. 1 人当たり食事とは別に 1 日 1L 以上の飲料水量がある
- D. 1 人当たり食事を入れて 1 日 1L 程度の水分摂取量がある
- E. D 以下の状況

食事

- A. 米飯やパンなど主食が 1 日 3 回以上、おかずが 1 回以上避難者全員に提供されている（カレー、豚汁、弁当等含む）
- B. 米飯やパンなど主食が 1 日 3 回避難者全員に提供されている
- C. 米飯やパンなど主食が 1 日 1～2 回避難者全員に提供されている
- D. 避難者が持参した食料をそれぞれで食べている
- E. D 以下の状況

使用可能トイレ

- A. 避難者全てが昼夜問わず不安を感じずにトイレを使用している
- B. 男女別になっており、女性用が男性用に比べて 3 倍の鍵が掛り明かりのつく個室トイレがある
- C. 避難者 20 人につき 1 台の鍵が掛り明かりのつく個室トイレがある
- D. 避難者 50 人につき 1 台の個室トイレがある
- E. D 以下の状況

新 電気

- A. 冷暖房機器を 24 時間稼働している
- B. 館内照明が 24 時間稼働している
- C. 館内照明が一部稼働している
- D. 館内照明が発電機で賄われている
- E. D 以下の状況

生活用水

- A. 食器を十分に洗浄できるだけの量がある
- B. 調理器具を十分に洗浄できるだけの量がある
- C. 避難者全員が毎回トイレの後手を洗う事ができるだけの量がある
- D. 避難者全員が 1 日 1 回はトイレの後手を洗う事ができるだけの量がある
- E. D 以下の状況

過密度

- A. 避難者全てが世帯ごとに最低限の身の回りのものを置くスペースと足を伸ばして寝るスペースを持ち、子どもと大人が手を繋いで歩けるだけの幅の通路が全ての出入り口まである
- B. 避難者全てが最低限の身の回りのものを置くスペースと足を伸ばして寝るスペースを持っている
- C. 避難者全てが毛布 1 枚分のスペースを持っている
- D. 世帯の誰かは自宅や車など避難所外で寝ている
- E. D 以下の状況

毛布等寝具

- A. 避難者全てに最低 1 枚ずつの季節に合った敷く物と掛ける物が渡っており、必要時交換できるだけの予備がある
- B. 避難者全てに最低 1 枚ずつの季節に合った敷く物と掛ける物が渡っている
- C. 避難者全てに毛布が 1 枚は渡っている
- D. 要支援者には毛布が 1 枚は渡っている
- E. D 以下の状況

湿温度管理

- A. 施設内全体で、空調システムが機能している
- B. 扇風機やスペースヒータなど、部分的な空調機器が各世帯にある
- C. 扇風機やスペースヒータなど、部分的な空調機器が要配慮者のいる各世帯にある
- D. 居住スペースの天井までの高さが 2m 以上あり、その空間全体を換気することができる
- E. D 以下の状況

手洗い環境

- A. 排水機能のある手洗い場所が、トイレ付近・洗面施設・調理場すべてに 1 つはある
- B. 排水機能のある手洗い場所が、トイレ付近・洗面施設・調理場いずれかに 1 つはある
- C. 使い捨ておしぼりや手指消毒剤が、トイレ付近・洗面施設・調理場すべてに 1 つはある
- D. 使い捨ておしぼりや手指消毒剤が、トイレ付近・洗面施設・調理場いずれかに 1 つはある
- E. D 以下の状況

新 感染予防・清掃用物品

- A. 消耗品の補給がある状況で、館内の全ての施設の清掃に必要な物品が揃っている
- B. 館内の全ての施設の清掃に必要な物品が揃っている
- C. 吐しゃ物や汚物等を安全に処理するのに必要な物品が揃っている
- D. トイレ清掃に必要な物品が揃っている
- E. D 以下の状況

新 個人スペースの区切り

- A. 過密度と調整
- B. 過密度と調整
- C. 過密度と調整
- D. 過密度と調整
- E. D 以下の状況

新 簡易ベッド等

- A. 世帯構成者の全員が簡易ベッド等で休息できる
- B. 世帯構成者の一部が簡易ベッド等で休息できる
- C. 乳幼児・子ども・要介護者の全員が簡易ベッド等で休息できる
- D. 乳幼児・子ども・要介護者の一部が簡易ベッド等で休息できる
- E. D 以下の状況

新 バリアフリー

- A. 車椅子および移動補助具を用いている人が、館内全ての施設を自力で移動し使用することができる
- B. 車椅子および移動補助具を用いている人が、個人のスペース、玄関、トイレ、食料と物資の配給場所に自力で移動することができる
- C. 車椅子および移動補助具を用いている人が、個人のスペース、玄関、トイレ、食料と物資の配給場所に助力を得て移動することができる
- D. 車椅子および移動補助具を用いている人が、玄関、トイレ、食料と物資の配給場所に近い場所に集約されている
- E. D 以下の状況

注

現行のシートは A から D までになります。D の状況が満たされていない場合でも、空白にせず D を入力することを推奨します。

電気の指標については国際基準で明記している資料はないため、国内災害の現状に合わせて筆者が作成しました。

参考文献

- A. Sphere Association スフィアハンドブック：人道憲章と人道支援に関する最低基準、2018 年発行 第 4 版、スイス、ジュネーブ
www.spherestandards.org/handbook
- B. Minimum Standards for Age and Disability Inclusion in Humanitarian Action: Pilot Version. Age and Disability Consortium as part of the ADCAP programme. 2015. ISBN 978-1-872590-97-4